

++++++
「植物と人々の博物館メールマガジン」 第 61 号 2019 年 12 月 6 日発行
++++++

自宅のキッチンガーデンでは、日照が不足なので、スイカなど果物は良く育ちませんが、それでもオクラ、ナス、ショウガ、ミョウガ、ユズ、ゴーヤ、サラダ用野菜ディール、ベイリーフ、レモンバウム、サンショ、ミズナ、シュンギク、レタス、ルッコラなどはほどほどに収穫できました。

Edible way のようなもので、通勤や散歩の方々が横目で見えていってくださっています。つるバラやジャスミンは評判です。

植物腊葉標本その他、写真スライドなど、図書を整理しています。これらを利用していただけるとうれしいです。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。友の会会員になっていただければうれしいです。

また、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人にぜひ広く転送伝達していただくとありがたいです。

なお、自然文化誌研究会の全体の環境学習活動は会誌「ナマステ」季刊でお知らせしています。

○報告

雑穀街道普及会：

12 月 5 日、上野原市役所で、今後の活動について 2 時間ほど話し合いました。参加者は農業委員会会長ほか 5 委員、協力隊員 1 名、山梨県農務事務所農業農村支援課 2 名、普及会木下、木俣でした。

上野原の農業の実情についてとても率直な意見をうかがうことが出来ました。雑穀街道普及会藤野は今月中につくり、相模原市へ活動助成申請の準備をするそうです。

2. 新しく始まった古民家旅館（細川邸）の宿泊者が来館くださるようになりました。

今後、旅館の担当者と利用合意ができて、図書室として活用していただけるとよいです。

○予定

1. 植物と人々の博物館

1) 開館・作業予定日：2019 年 11 月 29 日、12 月 13 日、20 日ほかの予定（原則金曜日）です。

植物と人々の博物館／森とむらの図書室では、順次、図書・植物標本・資料や民具の展示解説をしています。

ご利用くださるとともに、作業にご協力いただきたく、よろしく申し上げます。

ご利用や協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。

ご都合に合わせて、上記以外でも日程調整します。森とむらの図書室（小菅と藤野）では順次資料の整理をし、蔵書リストはホームページで公開しますので、ご利用ください。

場所は小菅村井狩集落バス停近く、旅館（細川邸）の前、道の駅臨時駐車場の坂を下ってすぐです。

2) 極小展示： ヨーロッパの観光旅行で集めた小物工芸品など。

3) 栽培保存種子： 雑穀類アワ、キビ、ヒエ、モロコシ、ハトムギ、オオムギ（六条、モチ在来）、コムギ、半白キュウリ、香辛料ディルなどの種子が欲しい方にはお送りします。ぜひ来年に楽しく栽培して増やしてください。

4) FAO 世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道普及会』の資料を充実しています。

雑穀街道に関する趣旨説明や植物と人々に関する自然誌・文化誌の講義など、博物館担当研究員が無償出張で行いますので、ご連絡ください。

5) 日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミは、希望者があれば日時・場所・話題などを調整して、読書会を開催します。

6) 民族植物学ノオトは次の第13号からは電子出版のみにする予定ですので、原稿は2020年2月末までの受付にします。

いつでもご寄稿を歓迎します。①インドの農業書、古典等に見られる穀物、②まねごと山村農ほかを準備しています。

これまでのすべての記事 pdf は植物と人々の博物館ホームページ（ミュージアムグッズ）で読めます。

国会図書館にも全号所蔵されています。バックナンバーは僅少ですが、希望者に差し上げます。

メールマガジンもすべて記録してあります。会誌ナマステは自然文化誌研究会のホームページで読めます。

年明け頃に、自然文化誌研究会と植物と人々の博物館のホームページを国会図書館 e デポに自動収録の登録申請をします。

登録認定されれば、デジタルデータは漸次更新収録され、国会図書館において閲覧できるようで、自然文化誌研究会の活動記録を公的機関に残すことができます。

7) 電子書籍：今のところ出版の意思はないので、次の確定稿については、「植物と人々の博物館」ホームページのミュージアム・グッズに電子書籍の項を作って国会図書館のデジタルeデポに自動収集してもらうようにします。

『環境学習原論—人世の核心』（木俣美樹男 2019）は自然文化誌研究会の冒険学校の到達点でもありますので、是非一読していただきたいです。著者は日本環境教育学会の創業者です。

『自分で考える日本国憲法』（木俣美樹男 2019）は憲法の加筆修正について、市民として強い関心がある条項に関して考え、提案をしてみました。

『先真文明の時代』（木俣美樹男 2019）は近未来について考えた関連のエッセイを整理したものです。

『冒険探検粉塵記』（黍稷農季人 2019）はナマステに連載したエッセイ（第1話から第18話）をまとめました。若干のフィクションも交えた冒険探検の個人史です。

次の電子書籍は順次必要に応じて改訂していきます。まだ、数年は書き続けるので、確定稿に至ったら、同上の通りにします。当面は下記の雑穀・民族植物学関係個人ホームページで一部を読めます。

『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』は民族・信仰について学びながら、南アジアについて、個人の現地調査の体験をまじえ、自由に書いています。「第1章補論1 民族と国の用語法」、「第4章補論4 北東部諸州」を公開しました。次は「第2章の加筆修正、補論2 農耕／言語伝播仮説」、第4章東部諸州についてまとめていきます。

『日本雑穀のむら』は第5章中部地方の雑穀文化複合、補論3 副食主菜の起源を検討しています。

『第四紀植物』および“Essentials of Ethnobotany”はまだ非公開ですが、栽培植物の起源の進化植物学、伝播の民族学などを書き進めています。

8) 森とむらの図書室

寄贈冊子：お米の勉強会会報、クリンネス、現代農業、うかたま、季刊地域、グリーンもあ、グリーン・ウォッチなどをありがたく頂いています。

会員雑誌：雑穀研究、南アジア研究、環境文明21 会報。

2. 自然文化誌研究会総会

2020年2月25日、13時から15時、藤野中央公民館予定。

3. 雑穀街道普及会：

賛同者を広く募っています。FAO 世界農業遺産申請に向けて賛同が広がるようにどうぞご援助くださいますようお願いいたします。

FAO 世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いいたします。

また、普及作業と一緒にして下さるとありがたいです。

下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。

世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」で閲覧していただけます。

ご確認の上で、賛同の意思表示をお寄せいただければうれしいです。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』第3章関東地方・第4章関東山地で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millet/sn/jnplmilvil.html>

○ お知らせ

1. 家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン

ご関心の方は是非ご入会ください。連絡先は下記です。

E-mail: info@ffpj.org URL: <https://www.ffpj.org>

Facebook: <https://www.facebook.com/ffpj2019/>

Twitter: [@FFPJ2019](https://twitter.com/FFPJ2019)

家族農業について学びたいです。「小規模・家族農業ネットワーク・ジャパン」には個人で賛同し、ホームページに意見を掲載していただきました。

<https://www.sffnj.net/single-post/2019/05/01/voice-mikio-kimata>

2. 環境文明 21 憲法部会

開催日は未定ですが、参加希望の方はご連絡ください。

3. 日本有機農業研究会の小農・家族農業研究会講演4、11月29日、國學院大學にて。

～今、農村女性は一農協婦人部の歴史から、これからを考える～農業ジャーナリスト、西沢江美子さん。世間は狭いもので、西沢さんは秩父雑穀自由学校を主宰、佐野さんと一緒に特別支援学校で朝取り野菜直売所を開設しているそうです。

彼から頂いた八木原オリジナル・借金なし大豆は全部イノシシの食べられてしまいました。

小菅の畑ではこんなことでも在来種子を失ってしまうのですね。

~~~~~

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミュージズ研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）、川上香（長野）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行： 木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

雑穀・民族植物学関係の個人 HP: 生き物の文明への黙示録

<http://www.milletimplic.net/>

~~~~~